



雪道での立ち往生は交通マヒを誘発 冬用タイヤ、チェーンの準備と装備をお忘れなく

近年、冬季において予想を超える大雪となるケースが増えています。降雪の影響により車両が立ち往生すると、深刻な交通マヒを誘発しかねません。交通渋滞などを引き起こした事業者には監査が行われ、適切な措置が不十分と判断されれば処分の対象となります。積雪・凍結路を走行する場合は、必ず適切な冬用タイヤやチェーンの携行・装着など、細心の注意を払った運転をお願いします。

運転中 細心の注意を払い、危険を回避する運転を

- 降雪時には早めのチェーン装着を
- 低速ギヤでゆっくり発進し、タイヤを空転させない
- 急坂道では上り終わるまで低速ギヤを使用し、ギヤチェンジしない
- 急発進、急加速、急旋回および急停止は避け、ブレーキは柔らかに
- カーブに入る前に減速し、速度は控えめに、十分な車間距離をとる
- 冬用タイヤの性能には限界があるので、運転時は細心の注意を払う

雪道走行における対策は
こちらから



出典:国土交通省「雪道での立ち往生に注意!-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-」「冬用タイヤの溝深さに注意!-大型車の冬用タイヤに関する使用上の注意点-」、公益社団法人 全日本トラック協会「雪道対策について」



車輪脱落事故は11月～急増! 事故防止に向けて確実な点検の徹底をお願いします

大型車の車輪脱落事故が近年増加しています。事故は特に、11月～2月の冬季に集中して発生しており、ノーマルタイヤから冬用タイヤに交換する際の不適切な作業が一因といわれています。

車輪の脱落は、歩行者やドライバーの命に関わる重大な事故につながる恐れがあります。正しい作業で事故は防ぐことが可能です。車輪脱落を防ぐため、「おたさない」を合言葉に点検をお願いします。



お たさめための 点検整備

事前の正しいタイヤ点検が大きな事故を未然に防ぐ、唯一かつ最善の手段です。



トルクレンチで 適正締め付け

適正なトルクレンチによる規定トルクの締め付け、タイヤ交換後の増し締めを実施してください。



さ びたナットは 清掃・交換

ディスクホイール取付面やハブの取付面、ホイールボルト、ナットに付着した錆やゴミ、追加塗装などを取り除きます。



ナ ット・ワッシャー すき間に給脂

ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑油を薄く塗布し、回転させて油をなじませてください。



い ちにち一度は 緩みの点検

運行前に特に脱落が多い左後輪を中心に、ボルト、ナットを目で見て手で触って点検します。

安全啓発動画「防ごう!大型車車輪脱落事故(ドラマ篇)」は
こちらから



出典:国土交通省「令和4年度大型車の車輪脱落事故発生状況と傾向分析について」、一般社団法人 日本自動車工業会「防ごう!大型車の車輪脱落事故」